

弁護士法人福岡法律事務所

代表弁護士 福岡 則博、弁護士 尾崎 悠吾

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町2丁目2番1号ソリオ3(5階)

TEL: 0797-87-5606 FAX: 0797-87-7160

HP: <https://www.fukuma-law.com/>

Mail: office@fukuma-law.com

執筆: 弁護士 福岡 則博



Legal F : Forces for Friends, Families and Fortunes (友人、家族、財産を守る力)

「新版 科学がつきとめた「運のいい人」」

中野信子著 サンマーク出版2023年9月

- 1 **本書**については、日経新聞の広告に載っていたことから購入し読み始めたのですが、内容は2013年に出版された本を加筆・再編集されたものであり、最新の運に関する脳学者の書というものはなさそうでした。そして、本書は運の定義を十分に明らかにしないまま進んでいきますので、運についてある種のイメージを持っている者にとっては、本の題名と内容との間に若干の違和感を覚えるかも知れません。つまり、一般的に、運とは自己の意思によって動かすことのできない出来事と自己との関係性のようなもので、その関係性がよい場合には運がいい、悪い場合には運がわるいということになるのではないかと思います。「運がいい」ということの好例は、宝くじが当たったと言うことでしょうか、この場合、宝くじの当選は自己の意思によって動かすことができない事象と考えられ、このように自らの意思でコントロールできない事象からも利益を受ける人が運のいい人ではないかと思われるのです。しかし、本書では、自己の努力によって能力を発揮し、あるいは、考えを改めることによって人間関係を改善し、これらによって人生をよりよくしていく人も「運がいい人」として捉えようとしているので、「運」とは何なのかがハッキリしなくなってしまうような気がします。
- 2 **それも**そのはず、本書は、運・不運の前提となる偶然的現象は、これに遭遇する人の意思によって引き寄せられるものではなく、誰にも公平に

起きているものであり、それを生かすかどうかは分かれ道であり、それを生かすように主体的に生きる人が「運がいい人」とするものです。本書においては「運のいい人」の行動パターンが多数列挙されており、例えば、「自分を大切に扱う」、「いい加減に生きる」、「自分は運がいいと思ひ込む」、「プラスの自己イメージを持つ」等々ですが、それらは、自分の努力によって人生を改善することでもあり、それらは、一般的な意味での運の問題とは異なるように思ったりしました。

- 3 **ただ**、本書の中で、偶然的事象と人間の努力とが非常にうまく説明されていたところがあります。それは「運のいい人は具体的な目的をもつ」(152頁)のところに書かれている「セレンディピティー」(serendipity)という言葉です。これは、「思わぬものを偶然に発見する能力、幸運を招き寄せる力」のことですが、ノーベル化学賞を受賞された白川英樹氏や田中耕一氏が偶然に起きた実験の失敗から大発見をされたことから説明されており、そのよう偶然を見逃さない姿勢が世紀の発見につながったものであり、偶然的事象を幸運化させたのは人の持続的な目的意識であるとするのがよく理解できました。
- 4 **閑話休題**。私はこの夏以降実に多くの最高級メロンを食しました。それらは有名百貨店から桐箱に入れて生産者の名札を添えて送られてきました。おそらく私はこの夏、日本で一番多くの最高級メロンを食した人間であると思いま

宝塚 Legal F NEWS vol.34

す。その幸運なる私が本書を読み終えた数分後、メロンを送ってくださってきた方に何度目かのお礼のお電話をしました。「もう本当に十分送っていただいていますから！本当にもうお気を使われませんように！」「先生、違うんです。これまでとは違うんです！お裾分けです！宝くじが当たったんです！」
「えっ！（絶句）」